

発行所 社会福祉法人 正心会

老人福祉施設 さぎそう園

〒666-0152 川西市丸山台3丁目5番地の6
TEL/072-794-7600(代) FAX/072-794-7573

総合福祉施設 ハピネス川西

〒666-0025 川西市加茂3丁目13番26号
TEL/072-755-1313(代) FAX/072-755-1314

ホームページアドレス : <http://www.seisin.or.jp>



平成30年8月
第54号

正心会 みちのり



編集部より

表紙の写真は、ハピネス川西作業所のご利用者が参加した「大阪ガス株式会社 御堂筋ふれあいバザー」の様子です。人通りの多い御堂筋に面した大阪ガス本社ビルの1階をお借りして、洋菓子を販売させて頂きました。

にぎやかな御堂筋の喧騒に負けないよう、大きな声で「私が焼いたお麩のラスクはいかがですか?」と元気に販売しました。色々なお客様のご意見を頂ける貴重な販売となりました。多くの方にPRできるバザーに参加させて頂き、大変感謝しております。

また、今回の紙面では、さぎそう園の納涼祭、ハピネス川西秋まつりといったイベントもご紹介しております。日頃の感謝を込めまして、これからも地域の皆様に楽しんで頂けるようなイベントを開催したいと考えております。



涼しくなる日を待ちわびて…

さぎそう園

納涼祭

毎年恒例の「さぎそう園納涼祭」が今年も7月27日に開催されました。記録的な猛暑日続きとなったこの7月。早く涼しくなるのを願いながら、楽しい時間を過ごしていただきました。今年も例年通りのゲームに加えて、ゲストを招いてのイベントも、より新鮮な内容で大いに盛り上がりました。ご協力くださったボランティアの皆様やゲストの皆様ののおかげで、まさに笑顔が暑さを吹き飛ばすようなお祭りとなりました。紙面をお借りして御礼申し上げます。

何度も歓声が上がったゲームコーナーの地域の子どもたちも一緒に楽しんでくれました。

どじょう拗いにはお腹を抱えて大笑い

地域の福祉委員さんによるカフェも大盛況

プロレスラーのビリーケン・キッドさんが来園のお姫様抱っこに大感激! (この際なので職員も・笑)



各デイサービスの外出レクリエーションの紹介

ハピネス川西障がい者デイサービス 「ちかばDEおやつ会」

障がい者デイサービスでは月に4名程度ずつ近所のお店におやつを食べに行く外出レクリエーション「ちかばDEおやつ会」を実施しています。今回は猛暑が続いていた為、サーティワンにアイスクリームを食べに行きました。



冷たくてとても
おいしかったです

ハピネス川西 シルバーデイサービス 「菜園活動」

ハピネス川西シルバーデイサービスでは、4年ほど前から菜園をご利用者と共に行っています。毎年季節の野菜や果物などを庭に植えてご利用者と一緒に毎日水やりをしたり、状態を観察したりと汗をかきながら楽しく育てて季節を感じて頂いています！



さぎそう園 デイサービスセンター 「ちょっとプレミアムなひとときを」

さぎそう園デイサービスセンターでは「Premium Thursday (特別な木曜日)」と銘打ち、新名神高速道路の宝塚北SAや、紫陽花で有名な頼光寺など、今が旬の場所でちょっとプレミアムなひとときを楽しんで頂きました。好評につき、各曜日へと拡大を図っていくところですので、乞うご期待です！



全国社会就労センター協議会より表彰!!

ハピネス川西作業所の高木千恵子さん(主任・サービス管理責任者)が永年勤続表彰を受けました。おめでとうございます。

気が付けばこんなに長く働いていました😊

これもご利用者の方の笑顔とたくさんの方が支えて下さったおかげだと感謝しております。現役で働けるのも、あと少しになりましたが、自分の出来ることを精一杯頑張っていますので、これからもよろしく願い致します。



「故郷の思い出 東大阪」



夫の井上米蔵様
21歳の頃

井上様は現在96歳ですがとてもお元気で様々なお話を聞かせていただきました。

私は東大阪で生まれて育ちました。詳しい住所は忘れてしまったけれど「石切さん」で有名な石切剣箭(いしきりつるぎや)神社の近くです。大阪も昔は田圃ばかりが広がり、夜は電灯もなく真っ暗で追いはぎが出たりして一人で歩くのが怖いくらいでした。

私と両親と兄が二人、姉が一人の六人家族でした。実家は農業を営んでいて米と野菜を作っていました。里芋、サツマイモ、甜瓜、ナスビなど色々あったかな。両親とも忙しく私は末っ子だったので、ほったらかしというかのびのび育ち

ましたね。大阪の枚岡尋常高等小学校に通っていたのですが、私が7歳の時に母が病気で亡くなってしまったので母の思い出はあまり無いのです。子供の頃は近所に住んでいた同級生のお母様や姉が私の面倒をみてくれました。姉とは19歳も年が離れていたから色々良してくれましたよ。

小学校を卒業後は実家の家事を手伝いながら仕事をしました。当時近所にある親戚の家で色々な動物の毛を集めてきてね、少し水で濡らして薄く延ばして揃えていくんです。同じ長さの物をゴムバンドで纏めて色々なブラシの材料として出荷していきました。当時のお給料で多くて月15円くらいだったけど自分で何か買い物をするような暇はなかったです。何軒もそういう家があったので、そのうち合名会社を立ち上げて規模も大きくなっていきました。

兄は二人とも鉄工所に住み込みで働き、姉は25歳で嫁いでいったので、私と父で実家の農家を切り盛りしていました。私が25歳の頃に川西に移り住み、兄と同じ会社に勤めていた夫と出会い結婚しました。結婚後も子供たちが皆高校を卒業するまでは紡績工場で働きました。自動車用のカーペットを作る会社で一日走り回って、かかとの高い靴なんて履いてられない職場でしたよ。

故郷に戻る事なんて滅多にないけど、一度夫と一緒に生駒山麗に旅行に行きました。夫は昔ながらというかお医者嫌いの偏屈者でした。昔はお見合いだからね、相手の性格なんて一緒になってみないとわからないじゃない(笑)

彼が亡くなってから今年で七回忌を迎えます。

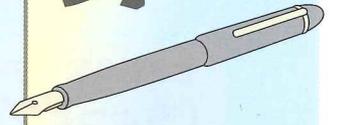
もう親兄弟は皆亡くなってしまったけれど、今は子供たちが気にかけてくれたり遊びに来てくれたりするのが一番うれしいです。



ハピネス川西
シルバーデイサービスご利用者
川西市在住
井上 スエノ様

私

の
見聞録



今回は「ハピネス川西」シルバーデイをご利用の、井上スエノ様にお話を聞きました。



旦那様と姫路の円教寺で

おたから
人財発掘

さぎそう園と共に歩んで



さぎそう園管財部
藤井 民弥さん

昭和61年開設のさぎそう園。今年で33年目に入り、その間、実に多くの職員が携わってこられました。その中で、開設当初を知る貴重な存在なのが藤井さんです。今回は藤井さんに開設当初の思い出を語っていただきました。

藤井さんはさぎそう園が開設して
すぐに入職されたそうですね？

昭和61年の4月7日採用なので、開設して1週間後です。居室はまだまだ埋まっておらず、入所される方の受け入れ準備で毎日多忙でした。当時は措置制度の時代ですから、川西市だけではなく、各地の役所の人と会って、いい勉強になりました。

色々な業務に携わっていたんですね？

当時の理事長(生駒一正前理事長)から若いうちに何でも経験しておいた方がいいと言われてましたからね。事務仕事から介護業務まで、何でもやりましたよ。当時は現場のスタッフも不馴れでしたから毎日不安でしたけど、入所された方が段々とさぎそう園の環境に馴れて表情が明るくなって行くのが励みでしたね。

当時入所されていた方は印象深いですか？

入所準備から関わっていたので、よく覚えてます。ご家族が話された在宅介護の悩みなども思い出せます。施設全体が今よりも規模が小さかったですからその分、入所されている方や職員との距離が近くて印象深いでしょうね。

施設の近辺も変わりましたね

さぎそう園の前はまだ宅地ではなくて、遥か北陵小学

ハピネス川西作業所製菓班で作っています！

ありまおんせんたんさんせんべい 有馬温泉炭酸煎餅サブレ

有馬温泉炭酸煎餅サブレは、兵庫県の福祉事業所で働く障がい者の応援事業「兵庫ブランド商品」として企画・商品化されました。神戸マイスターでもある、神戸洋藝菓子ボックスの福原敏晃シェフにご指導頂き、ハピネス川西作業所を含む県下5事業所にて製造し、有馬温泉のお土産として販売しております。

厳選した素材を惜しみなく使ったクッキー生地、有馬銘菓炭酸煎餅のフレークを練り込みました。炭酸煎餅のサクサクとした食感を活かせるよう生地の混ぜ具合に注意して、じっくり焼き上げています。



～販売先～

- ★有馬温泉街の20の旅館など
 - ★神戸ふれあい工房(神戸市役所2号館内)
 - ★+NUKUMORI(プラスぬもり)
- (<http://www.nukumori-hyogo.com/>)

協 力

神戸洋藝菓子ボックス(製造指導)
株式会社CUADRO(企画)
有馬温泉観光協会
有馬温泉旅館協同組合



取材の際は当時の失敗談等、ちよつと記事にはできないような(?)裏話もあって、笑いの絶えないインタビューになりました。興味がある方は直接声をかけてあげてください。編集担当者も実は藤井さんの1年遅れで入職した古参職員なのですが、当時と変わらないナチュラルな笑顔が何よりも印象的でした。



93年、若かりし頃の藤井さん

私は5年周期で世の中は変わっていくと思ってるんです。社会全体もそうですし、自分の周りもですね。5年の間に別れがあったり新しい出会いがあったり。その周期を6回も過ぎてきたわけですから、自分でも驚きますよ(笑)

—藤井さんにとつての、さきそう園での32年を振り返っていただけますか？—

歴代の施設長はどの方も思い出深いですが、やはり最初にお世話になった岡田施設長(さきそう園初代施設長)との思い出は多いです。それまで校長先生をされていた方ですから、入所されている皆さんと比較的年齢が近く、とても慕われていましたね。お住まいも前職も猪名川町の方でしたから、今もご縁が続いているボランティアの方とか、猪名川町との繋がりを作ってくださいました。人と人との繋がりがとても深かったように思います。

—長い間に本当に多くの人と出会われましたね—
前理事長には教わることが多かったです。私が月曜日に休暇を取ると、「月曜日は1週間の始まりや。そのスタートの日いきなり休んでどうするー」と叱られました。その時は内心「月曜日でも火曜日でも一緒やうんかなあ」と思いましたが(苦笑)、段々その意味がわかるようになりましたね。

—他にな変わったと思うことはありますか？—
介護の方法も随分変わりましたよ。今の若い職員は、「当時の排泄介助は布おむつだったんやで」と言うと、驚くんじゃないですかね(笑)

校まで見渡せましたね。日生中央駅前のショッピングセンター(サビエ)もまだ無かったですから、利用者さんの買い物レクは清和台まで車でお連れしていました。

ハピネス川西 秋まつり 2018

平成30年10月20日(土) 10時～15時 入場無料 雨天決行

きんたくん・いなぼうも来るよ!

オープニングセレモニー

川西南中学校吹奏楽部様による演奏(雨天の場合中止)
ほかイベント多数



体験コーナー

おが粉を色付けてして作品を作ろう
「OGAKKO Art」
にしもく合同会社様

販売コーナー

パン販売
ル・クロワッサンショップ宝塚店様
わたがし、ハピネス川西作業所
自主製品(焼き菓子、小物)



飲食コーナー

カレー、から揚げ、たこ焼き

喫茶コーナー

コーヒー、クッキー、マドレーヌ



ゲームコーナー



防災コーナー

水で作れる白米の試食会(無料)



お問い合わせ:072-755-1313 町、米倉

※ご来場のお客様へ。駐車場のご用意がございませんので、公共交通機関をご利用頂くか、ハピネス川西の無料循環バス(30分間隔で運行)をご利用ください。循環バス詳細につきましてはお問い合わせください。

気軽にお立ち寄りください

介護相談窓口をオープンしました

1月23日、当法人が運営する新たな無料の介護相談窓口が、市立川西病院に程近い新規開店のコンビニエンスストア「ローソン川西見野三丁目店」内に開設いたしました。また、4月1日からは東谷地域包括支援センター出張所となっております。コンビニエンスストアに介護相談窓口を併設した全国12店舗目(県内2店舗目)となる「ケアローソン」という新しいスタイルで、オープン以来、約半年が経ちました。ご利用者からは「コンビニなら行きやすいですね」「前から気になっていたことを聞くことが出来ました」という声も戴いております。

地域の皆様にとって、より身近な相談窓口でありたいと思っております。

相談窓口前のスペースにあるイートコーナー(飲食スペース)では、地域の皆さんが気軽に立ち寄っていただけるような各種イベントも企画中です。介護相談だけでなく、ケアローソン自体を“集いの場”だと感じていただければ幸いです。

